

研究課題「訪問看護サービスの安全管理に係る全国調査：訪問看護事業所および自治体を対象とした Web 調査」の追跡調査へのご参加のお願い

1. この研究の概要

【研究課題】

訪問看護サービスの安全管理に係る全国調査：訪問看護事業所および自治体を対象とした Web 調査（審査番号 2024503NI-(1)）

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関：東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻

高齢者在宅長期ケア看護学分野 研究責任者：山本 則子

担当業務 研究計画立案・データ収集、データ分析結果の解釈、結果発表

【研究期間】

実施許可日～ 2029 年 12 月 31 日

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は研究期間延長の申請を行う予定です。

【研究目的・意義】

在宅医療の重要性が増す中、国の政策的支援も相まって訪問看護ステーションの数は継続的に増加しています（2024. 4. 1 現在 17, 329 箇所）。しかしながら、訪問看護利用者の事故の実態、事業所の安全管理体制の準備状況と対応、自治体による把握や活用状況はこれまで未解明です。本研究は以上を踏まえ、訪問看護事業所における安全管理体制、事故内容等に関する調査・分析を行うとともに、自治体が行っている任意の事故報告内容の調査・分析を踏まえた事故の実態を把握し、自治体が安全な在宅サービス提供体制の構築するうえで有効な示唆を得ること目的としています。

【研究方法】

1. 本研究では、2024 年度に同研究班が実施した全国調査の結果をもとに、事故情報の把握・分析・利活用において先進的な取り組みをされていると考えられる自治体様を対象として、本説明文書をお送りしております。
2. 本説明文書を読み、参加いただける場合は、返信用はがきやリマインド時の電話連絡を通じて、参加の意思をお伝えください。または、以下の【連絡・問い合わせ先】までメールにてご連絡いただいても構いません。
3. その後、研究実施者から電話またはメールで研究説明文書に沿った詳細な説明を受けます。研究にご協力いただける場合は、インタビューを行う日時と方法（対面またはオンライン会議ツール）を決めます。
4. 対面またはオンライン会議ツールでインタビューをさせていただきます。
＜対面でのインタビューの場合＞

- ・ 指定日時・場所に研究者が訪問し、書類と口頭で研究説明をします。
- ・ 同意する場合は、同意書に署名していただき、インタビューを実施します。

＜オンライン会議ツールでのインタビューの場合＞

- ・ 事前に書類をよくお読みいただき、また同意書にご署名いただきまして返信用封筒にて研究者に郵送していただきます。
- ・ Web 会議システム（Zoom 等）にてインタビューを実施します。

なお、インタビュー内容は、許可を得られた場合、録音させていただきます。録音データから逐語録を作成いたします。研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

2. 研究参加の任意性と撤回の自由

この研究にご参加いただくかどうかは、研究対象者の自由意思に委ねられています。同意書への署名をもって同意とみなさせていただきます。また、もしも同意を撤回される場合は、同意撤回書に署名しご提出ください。ただし、調査後1か月以上を経過しますと、データ分析が始まり個人のデータの削除が難しくなりますのでご了承ください。なお、研究にご参加いただけない場合にも、あなたの不利益につながることはありません。

3. 個人情報の保護

この研究に関わって収集される資料・情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。収集したデータは、解析する前に氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した上で、パスワードロックをかけた USB メモリで厳重に保管します。取得したデータは研究実施者の研究室（東京大学医学部5号館 111 教室）の鍵のかかるロッカー内で紙媒体およびポータブル HDD で保管します。

4. 研究に関する情報の公開および研究により得られた結果等の取扱い

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。個人的なお問い合わせをいただいた場合でも、個人情報を収集しない調査であるため、個別の研究結果についてはお伝えすることができません。下記のお問い合わせ先に連絡いただければ、全体の研究結果についてはお伝えいたします。

国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の実資料となることもあるために、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会（誌）へ提供・公開すること、また保管されることがあります。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、本研究の成果は、自治体が安全な在宅サービス提供体制の構築に向けて有効な示唆を得られる可能性があります。

一方、不利益な面として、多忙な時期に、インタビューのために約 60～90 分の時間を割く必要があり、時間的負担と通信費を要します。なお、本研究による重篤な有害事象の発生は想定していません。

6. 研究終了後の資料・情報・データ等の取扱い方針

取得した資料・情報・データ等は、原則としてこの研究のためにのみ使用します。研究者の管理下にある場所で厳重に保管し、この研究が終了したあと 5 年間保管します。その後、紙資料は裁断処理を、電子データは完全消去をします。研究期間終了 5 年間保管後に破棄します。

7. あなたの費用負担

オンラインインタビューの際に発生する回線使用料金や、対面インタビューの際に必要な交通費は、ご自身でのご負担をお願いします。

なお、あなたへの謝金はございません。

8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として知的財産権等が生じる可能性があります、その権利は国、研究機関及び研究従事者等に属し、研究参加者はこの知的財産権等を持ちません。また、その知的財産権等に基づき経済的利益が生じる可能性があります、これについての権利も持ちません。

9. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

なお、この研究に関する費用は、『厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）・訪問看護サービスの安全管理に係る多角的・科学的エビデンス構築（24GA1002）』から支出されます。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何かご心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

※この研究説明書および同意書は、大切に保管してください。紛失等により問合せ先が分からなくなった場合は、「東大 地域看護」(<https://chiikikango.m.u-tokyo.ac.jp/>)で検索していただき、ご相談ください。

2025 年 8 月吉日

【連絡・お問合せ先】

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
地域看護学・公衆衛生看護学分野
准教授 吉岡 京子

E-mail: kyokoy-tky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

【連絡担当】地域看護学・公衆衛生看護学分野 助教 前田明里

TEL: 03-5841-3597/FAX: 03-5802-2043

E-mail: maeda-akari629@g.ecc.u-tokyo.ac.jp